

2020 年 8 月発行

小羊会医療部

小羊新聞 夏号



お問合せは通院中のクリニックまでお気軽にどうぞ！

夜間などの緊急時はこちら

* 診療時間外で
緊急に連絡を要する場合にご活用ください
* すぐに出られない時はかけなおしますので、
非通知設定にしないでください

長沼クリニック 八千代市八千代台北 6-11-9

tel. 047-487-6665

船橋本町クリニック 船橋市本町 6-4-24

tel. 047-460-7101

千葉横戸クリニック 千葉市
花見川区横戸町 1123-4

tel. 047-481-1301

習志野腎クリニック 習志野市実籾 5-3-20

tel. 047-470-0111

八千代腎クリニック 八千代市緑が丘 1-1-1

tel. 047-458-7301

鎌ヶ谷第一クリニック 鎌ヶ谷市東初富 6-9-47

tel. 047-441-7730

高洲訪問クリニック 千葉市
美浜区高洲 1-1-13 1F

tel. 043-241-0865

松戸第一クリニック 松戸市五香 4-34-3

tel. 047-712-0266

南柏駅前クリニック 柏市南柏 1-8-16

tel. 04-7141-7171

小羊会の新型コロナウイルス感染防止対策について

小羊会の新型コロナウイルス感染対策へのご協力ありがとうございます。

小羊会医療部では、日本透析医学会からの指針をもとに感染対策を実施しており、みなさまに安心して通院していただけるよう取り組んでおります。その指針（一部）を以下にご紹介させていただきますのでご確認ください。

＜新型コロナウイルス感染症 疑い患者や軽症患者の透析治療を行う際の具体的な感染対策＞

- ① 標準予防策とともに、飛沫感染と接触感染の予防策を徹底する。
- ② 患者に毎日の体温測定と健康状態の把握を指示し、咳のある患者には、確実にマスクを着用するように指導する。
- ③ 37.5℃以上の発熱や感冒症状など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状のある場合、来院前に透析施設に電話連絡するように指導する。
- ④ 症状が 2 日程度続いている場合・強い倦怠感や呼吸困難がある場合、医師が総合的に判断して新型コロナウイルス感染症を疑う場合は、帰国者・接触者相談センターに電話連絡する。
- ⑤ 帰国者・接触者相談センターでかかりつけ透析施設の受診を指示された場合には、患者にマスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて来院するように指示する。また、集団での送迎サービスを利用しないように指導する。
- ⑥ 患者が来院した際には、他の患者との動線が交わらないように配慮して、透析開始前に診察を行う。
- ⑦ 透析開始前の診察は、ガウン、マスク、ゴーグルなど、個人防護具を着用する。
- ⑧ 更衣は、他の透析患者と接触がないように、別室を使用するなどの対策を行う。
- ⑨ 飛沫感染を考慮した感染対策（空間的な隔離、時間的な隔離）
透析を行う場合には、個室隔離が望ましい。個室隔離透析が不可能な場合には、飛沫距離である 1～2 メートルを十分に考慮した以下の対策を行う。
 - 1) 患者どうしの間隔が 2 メートル以上空くように、接するベッドで透析を行わないなどし、つい立やカーテンを使用する空間的な隔離を行う。
 - 2) 空間的な隔離が困難な場合や感染者が多数の場合は、感染者と非感染者の時間帯をずらして透析を行う時間的な隔離で対応する。

また、医療スタッフについては、発熱など体調不良者は出勤を停止し、新型コロナウイルス感染症の疑いが濃いスタッフは、帰国者・接触者相談センターに連絡し指示を受ける。

『新しい生活様式』における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人ひとりが感染防止の3つの基本である「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗いや〈3密（密集、密接、密閉）〉」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。

これから、夏を迎えるにあたり、皆様には、例年よりもいっそう熱中症にもご注意いただきたく、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントをまとめました。

(1) マスクの着用について

マスクは飛沫の拡散予防に有効で、「新しい生活様式」でも一人ひとりの方の基本的な感染対策として着用をお願いしています。ただし、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。

したがって、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。

マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、適度な水分補給を心がけましょう。

また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。

(2) エアコンの使用について

熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効です。ただし、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

(3) 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動することが、熱中症予防に有効です。一方で、人数制限等により屋内の店舗等にすぐに入ることができない場合もあると思います。その際は、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動してください。

(4) 日頃の健康管理について

「新しい生活様式」では、毎朝など、定時の体温測定、健康チェックをお願いしています。これらは、熱中症予防にも有効です。平熱を知っておくことで、発熱に早く気づくこともできます。日ごろからご自身の身体を知り、健康管理を充実させてください。また、体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養するようにしましょう。

(厚生労働省 HP より)



保険証の更新について

国民健康保険、後期高齢者医療保険では、毎年1回被保険者証を更新しています。

有効期限は、令和2年7月31日です。

新しい保険証がご自宅に届きましたら、早急にご持参いただきご提示をお願いいたします。

ご協力をお願いいたします。

送迎バスご利用の方へ

変更・キャンセルの場合はお早目にお知らせください。

◆発熱、嘔吐、下痢等や普段と体調が違うなどの症状がある場合は、乗車前にお申し出ください。

◆送迎バス内は飲食禁止です。

